

平成 24 年 6 月 6 日

教職員各位

学 長 糸魚川 直祐
FD 推進委員会委員長 渡邊 完児

平成 24 年度授業公開について

先般、中央教育審議会大学教育部会は「予測困難な時代において生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ」と題した“審議まとめ”を出しました。“審議まとめ”では、我が国の大学生の実態としては学修時間（授業のための事前の準備、事後の展開などの主体的な学びに要する時間）が不足していることが大きな問題であり、さらに経済を中心とするグローバル化や多様な情報社会が急激に変化するなかで将来の予測が困難になってきている時代をどう生き抜くかを大学での学修で十分に育成できるかどうかは切実な問題であることが述べられています。この課題への対応として「学士課程教育の質的転換」が求められています。すなわち、「生涯学び続け、どんな環境でも“答えのない問題”に最善解を導くことができる能力」を育成すること。そのために大学には学生が主体的な学びを深めるとともに学生同士が切磋琢磨をして互いに刺激を与え合いながら知的に成長できる（思考力や表現力を引き出す）よう、双方向の課題解決型の能動的な授業を中心とした質の高い学士課程教育への質的転換が求められています。そしてこの確立のために FD の推進は重要な位置づけがなされています。

本学は「教育推進宣言」ですでに“自立した学生を社会に送り出すため、主体性・論理性・実行力”を培う女子教育を推進することを宣言しました。本学の「教育推進宣言」は中央教育審議会大学教育部会がまとめた「予測困難な時代において生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学」に向けていち早く取り組んでおり、FD 推進委員会における「授業公開」もその重要な取り組みの一つとして位置づけられています。このような重責を担う FD 推進委員会では平成 24 年度も「授業公開」を実施し、同時に授業を通じて主体性・論理性・実行力をどのように育成するかについて教職員間で議論できる機会を設けたいと考えています。

つきましては、本年度前期の授業公開を別紙「前期『授業公開』の参観ご案内」のとおり実施します。お忙しいことと存じますが、授業公開の趣旨をご理解いただき、多くの教職員のご参加をお願いいたします。